

循環器病対策実態調査票の質問項目案（脳卒中_病院）

＜病院の基本状況＞

Q○ 脳卒中患者の対応において貴院が担っている役割は（複数選択可）

- AO (1) 急性期
 (2) 回復期リハ
 (3) その他（※慢性期、外来等）

Q○ 脳卒中治療に係る認定を取得しているか

- AO (1) PSC コア,
 (2) PSC,
 (3) 脳卒中对応医療機関,
 (4) その他（自由記載欄）

＜従事者の状況＞

Q○ 脳卒中関係業務に従事している医師の体制について、医師一人当たり一行を用いて回答してください。
 （令和3年9月1日現在）

AO

	勤務形態		専門領域	認定状況 (該当するものがあれば)
	常勤	非常勤 ※非常勤の場合		
1	常勤・非常勤	人	脳神経外科医・神経内科医・循環器内科医・リハビリテーション科医	脳血管内治療専門医・脳血栓回収実地認定医
...	常勤・非常勤	人	脳外科外科医・神経内科医・循環器内科医・リハビリテーション科医	脳血管内治療専門医・脳血栓回収実地認定医

※1病院20行程度用意（それ以上いる場合の記載方法も検討中。）

※非常勤職員数を常勤換算数で計算する算出法を入れる、小数点の定義を入れる。

Q○ 専門職員の人数は（令和3年9月1日現在）

- AO (1) PT 人数、常勤○人、非常勤○人 職員の充足度 ※5段階程度で選択
 (2) OT 人数、常勤○人、非常勤○人 職員の充足度、
 (3) ST 人数、常勤○人、非常勤○人 職員の充足度
 (4) MSW 人数、常勤○人、非常勤○人 職員の充足度

<患者の状況等> (急性期病院)

(※以下2問については回答内容の公開を予定している旨、記載予定。)

Q○ t-PA 治療について。

- AO (1) 毎日 24 時間対応可能
(2) 毎日日中のみ対応可能 (夜間に対応不可)
(3) 一部対応可能な日程がある。(以下に○を記載してください。)

	月	火	水	木	金	土	日
日中							
夜間							

- (4) 対応できない

Q○ 血栓回収治療について。

- AO (1) 毎日 24 時間対応可能
(2) 毎日日中のみ対応可能 (夜間に対応不可)
(3) 一部対応可能な日程がある。(以下に○を記載してください。)

	月	火	水	木	金	土	日
日中							
夜間							

- (4) 対応できない

Q○ 救急受入れに係る連携について、輪番制等の協力体制を他医療機関ととっているか。

- AO (1) 既に輪番等を実施している。
(2) 現在、輪番などは実施していないが、今後に向けて連携を検討している。
(3) 輪番等の協力は行っていない。

Q○ (上記問において (1) (2) を選択した方) 輪番などの協力体制をとっている理由は何か。

- AO (1) 脳神経外科医が不足しており、24 時間体制をとるのは負担が大きいため。
(2) 麻酔科医等の各専門職が不足しており、24 時間体制をとるのは負担が大きいため。
(3) 経営的に採算がとれないため。……

Q○ (上記問において (3) を選択した方) 協力等を行っていない理由は何か。

- AO (1) 24 時間体制をとることに負担感はなく、集患を優先したいため。
(2) 医療圏内に協力体制をとれる医療機関がないため。
(3) 自院のみで体制をとる方が効率的なため……

Q○ 令和3年9月の実績として、脳卒中の救急患者の受入数と受け入れられなかった数を教えてください。
(受け入れられなかった数は概算の数でかまいません。)

- AO (1) 受入数 ○○人。
(2) 受け入れられなかった数 ○○人。

Q○ 上記の受け入れられなかった理由の割合を教えてください。

- AO (1) 別の患者を受け入れていたため。 ○○割
(2) 夜間の受け入れを行っていない日であったため。 ○○割
(3) 専門医が不在にしていたため ○○割

...

Q○ SU (Stroke Unit (※)) の有無について。

- AO (1) 有,
(2) 無
(※) 医師・看護師・リハ職・MSW・栄養・薬剤など多職種によるチーム

Q○ t-PA 実施患者の90日後のmRSについて。(把握が難しい場合は退院時のmRS) (急性期病院のみ)
(対象機関：令和2年1月～12月)

AO 実施患者数○人

- (1) 0-2 (90日後) ○人
(2) 3-5 (90日後) ○人
(3) 0-2 (退院時) ○人
(4) 3-5 (退院時) ○人

Q○ 急性期病院からの脳卒中患者の転帰先 (急性期病院のみ)

- AO (1) 自宅退院 ○割
(2) 回復期リハ病棟 ○割
(3) 療養病床 ○割
(4) その他病院 (上記(2), (3)以外) ○割
(5) 老健・施設 ○割
(6) 死亡 ○割

<患者の状況等> (回復期リハ関係病院)

Q○ 回復期リハ病棟の状況について (回復期リハ関係病院のみ)

- AO (1) 患者受け入れ余力はあり、集患を進めていきたい
(2) 病床が不足しており、転院依頼を受けられないことがある
(3) 病床に余裕はあるが、対応できるスタッフが不足しており、効率的に患者を受け入れることが難しい。
(4)

Q○ 入院患者の退院時の mRS の変化について。(回復期リハ関係病院のみ)

- AO (1) 入院時 5 ○人 うち、退院時 0-2○人 退院時 3○人 退院時 4○人 退院時 5○人
(2) 入院時 4 ○人 うち、退院時 0-2○人 退院時 3○人 退院時 4○人
(3) 入院時 3 ○人 うち、退院時 0-2○人 退院時 3○人

Q○ 回復期リハ病棟からの脳卒中患者の転帰先 (回復期リハ関係病院のみ)

- AO (1) 自宅退院 ○割
(2) 療養病床 ○割
(3) その他病院 ((2)以外) ○割
(3) 老健・施設 ○割
(4) その他 ○割

<今後の課題について>

Q○ 脳卒中に関係する医療を提供する上での課題について、該当するものを3つまで選択してください。

- AO (1) 脳卒中治療に従事する医師の確保
(2) 脳卒中治療に従事する看護職員の確保
(3) 脳卒中治療に従事する専門職種 (医師・看護師を除く) の確保
(4) 救急受け入れ態勢の構築 (輪番制等のネットワークの構築)
(5) 多職種連携のための環境の整備
(6) 医療機関 (病院) 間の連携体制の構築
(7) 医療機関 (診療所) 間の連携体制の構築
(8) 介護施設との連携
(9) 患者の退院調整・退院支援
(10) 患者の経済的負担の軽減
(11) 診療報酬の引き上げ
(12) 競争過多で患者の奪い合いがおきている
(13) 医師の働き方改革への対応